

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ケアステキッズ精華				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	適切である		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	適切な人員確保が出来ている	日によっては出勤人数が少ない日もあるためばらつきが出ないようにシフト調整が必要である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	バリアフリーになっている エレベーターも設置している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	清掃や消毒を実施している またアルコールアレルギーの方もいるため非アルコールで実施している	感染予防対策も継続してしていく必要がある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	個別対応の部屋を設けている	全職員が参加できる体制は必要である	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	50%	50%	定期的に実施をしている	全職員が参加できる体制は必要である	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	毎年自己評価アンケートを実施、公表している	具体的に改善内容を挙げ全職員がわかりやすく把握できるようにしていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングや日々の報告、相談等で意見交換をし全体で把握できるようにしている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83%	17%	動画研修を実施している		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	5領域に沿った支援プログラムをHPで公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	個別支援計画書を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	17%	情報交換、共有を行い計画書を作成している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	67%	33%	記録ソフトやファイルを通じて共有をしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	0%	記録ソフトを通じて日々確認が出来る		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%	左記を踏まえ計画書作成をしている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	33%	67%		全職員が立案できる体制が必要である	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	修正、見直しを定期的に行っている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	67%	33%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	口頭だけでなく、アプリを使用し共有を実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	口頭だけでなく、アプリを使用し共有を実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	記録ソフトを使用している またそれを基に計画書の見直し、修正を実施している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	17%	情報交換やミーティングをしその情報を基に見直しを実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	67%	33%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	67%	33%	個々に合わせた支援を実施している	医療的ケア児に対する支援が看護師以外のスタッフも安心して支援に入れるよう対策が必要
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%	参加時は情報収集をし問題点を提起し参加をしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	利用前や開始時は多方面より情報収集をし利用開始に備えている	緊急時の対応が全職員が統一して実施できるようにしておく必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	17%	送迎時に情報共有をし、必要時は電話等で確認をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%	カンファレンス等を通して情報収集をしている また必要時は電話で確認をしている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%	カンファレンス等を通して情報提供をしている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33%	67%		現状出来ていない また発信側になることが少ないため進んで連携を図っていく必要がある
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	17%	83%		現状出来ていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83%	17%	送迎時、必要時は電話で情報共有をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17%	83%	情報提供は送迎時や電話でおこなっている	参加出来るプログラムがないため今後そのような場を設けられるようにしていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	17%	契約時に説明、配布をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83%	17%	利用開始までに家族から意向を聞き、それを踏まえて計画書の作成をしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	83%	17%	半年毎や支援内容変更時には計画書の修正をしサインをもらっている	書面のみでのやりとりがあるため、説明の場を設ける必要がある
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	83%	17%	送迎時のやりとりの中で助言やアドバイスが必要な場合は持ち帰り相談している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17%	83%	年一回家族で参加できる行事を行っている	年一回の行事ではしっかりと話せる場ではないため別の機会を設ける必要がある。また家族同士の交流の場が少ない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%	管理責任者をもとに迅速に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	83%	17%	SNSを通じて発信している	不定期となっているため定期的に発信できるようにしていく。また全利用者見れないため他の発信方法も検討していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	十分に注意をとり扱っている。緊急時は開示する場合もあるがその際も十分注意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	83%	17%	カードを使用したり表情、発声など個性に合わせたコミュニケーション方法をとっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%		現状出来ていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルで共有している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	家族より情報収集をしました処方箋の提出もしてもらっている。発作の薬は預かり対応をしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギー表を作成し職員全員で把握している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	安全計画を作成している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%		家族への周知が出来ていないため改善が必要である
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットはすすんで書くようにし事故防止に繋げている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修を定期的実施しまた日々虐待防止に努めている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	研修を定期的実施している。現状身体拘束はないが必要性が出た場合は保護者と十分話し合いをする		